

2020年5月28日 第324号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

安倍9条改憲NO!ウィメンズアクション スタンディング宣伝

政治や検察の私物化許さない! こんな時に「改憲議論」?!

憲法をいかしたコロナ対策を! 「いのち守れ」と声をあげよう!



安倍9条改憲NO!ウィメンズアクションは、5月27日夕、有楽町・イトシア前でスタンディング宣伝を行い50人が参加しました。緊急事態宣言が全国で解除されて初めての宣伝でしたが、やはり前回よりも人通りが多くなっていました。宣伝を聞いていた年配の女性は、「安倍政権が政治や検察までも私物化しようとしている」との発言に、「私もその通りだと思う」と話し、憲法共同センターのリーフを受け取り、改憲発議に反対する署名に協力してくれました。

検察庁法改正案への抗議のツイッターに寄せられた市民の声で、今国会での法案の採決が見送られました。「おかしい」と思うことには、声をあげ続けることが大切です。憲法を生かしたコロナ対策の充実を求め、街頭から訴えつけていきましょう。

憲法共同センターからは、全労連の長尾ゆりさん、国公労連の伊吹五月さんが発言。長尾さんは「アベノマスクでは送られてきたマスクに髪の毛が入っているものがあつたりしたと言う。国から配布されたものが信頼できないとは、悲しい国だ。安倍政権ではモリカケ、桜を見る会など次々に問題が起こり、検察庁法を「改定」し、検察までを私物化しようとするのは許せない」と声があがった。検察庁法改正案では、多くの市民の声で暴走をくい止めた。声をあげれば政治は変わるという民主主義の力を示した。憲法を生かす政治にするため声をあげ続けよう」と訴えました。

伊吹さんは、検察庁法「改定」案が国家公務員の定年を延長する法案と一括法であったことについて述べ、「国家公務員でも年金支給は65歳であり、60歳定年ではその間、働かなければならない。定年延長については10年前から議論がされてきた。定年延長の法案が今後いつ出されるか見通せないが、みなさんにも応援してほしい」と呼びかけました。

●大阪

府民の関心に元気もらう 各地で19日宣伝

- ・守口 19日、京阪守口駅10人と大日駅11人で夕方駅宣。手作り横断幕を見て、通り過ぎる人がいました。
- ・西淀川 19日、歌島橋交差点で55人が参加しスタンディング宣伝。「兵器の爆買いやめて休業補償を!」「カジノやめてコロナ対策を!」という2本のスローガンを1字ずつ大書した20枚の大判パネルを掲げてドライバーにアピール。「暮らしと命を最優先で守る政治に」と通行人にも訴えました。

- ・高槻 19日JR高槻駅前で戦争させない高槻島本実行委員会に結集する仲間60人近くで宣伝。ビラは手渡しを止めて、自由に持ち帰る方式で配布。マイクで10人の弁士がスピーチしました。
 - ・四条畷 19日楠公商店街で宣伝。人通りはコロナ以前より少なかったにもかかわらず、40分で152枚のビラがなくなりました。これまでは1時間で100枚くらいだったのに。市民の高い関心に参加者全員、元気をもらいました。
- その他、19日行動は16地域に広がり北区（南森町）、豊能（光風台）、豊中（豊中駅前）、摂津（南千里コノミヤ前）、大東（住道駅）、寝屋川（寝屋川市駅）、藤井寺（藤井寺駅）、羽曳野（古市駅前）、河内長野（河内長野駅前）堺（堺東駅）、泉南（新家駅）、岬町（スーパー前）。

19日、国民大運動・安保・大阪憲法会議3団体主催で淀屋橋にて昼休み宣伝。32人が参加し150枚のビラを配布。18時から総がかり市民運動団体、大阪総がかり行動協賛で京橋駅前にて緊急行動。60人が参加しました。

